収　入

印　紙

金銭消費貸借兼抵当権設定契約書

　債権者○（以下「甲」という。）と債務者○（以下「乙」という。）は、以下のとおり金銭消費貸借契約及び抵当権設定契約を締結した。

　（貸借）

**第１条**　甲は、乙に対し以下のとおり金銭を貸し渡し、乙はこれを借り受けた。

　(1)　金額　金○円

　(2)　利息　年○パーセント

　(3)　損害金　年○パーセント

　(4)　弁済期　令和〇年〇月〇日

　（抵当権の設定）

**第２条**　乙は前条の債務の履行を担保するため、乙が所有する後記不動産に第○番順位の抵当権を設定した。

２　乙は、本契約締結後、直ちに必要な抵当権設定登記手続を完了する。ただし、登記手続費用は乙の負担とする。

　（期限の利益喪失）

**第３条**　乙において次の各号の一に該当したときには、甲が何らの催告通知を要することなく、乙は期限の利益を失い、直ちにその残債務を返済する。

　(1)　支払停止又は破産、民事再生若しくは会社更生手続開始の申立てがあったとき。

　(2)　抵当物件が滅失し、毀損し、又はその価値が著しく減少したとき。

　(3)　その他、本契約に違反する行為があったとき。

　（契約締結費用）

**第４条**　本契約締結に要する費用は、乙の負担とする。

（協議解決）

**第５条**　本契約に定めのない事項又は本契約の解釈について疑義が生じたときは、甲乙誠意をもって協議のうえ解決する。

　（合意管轄）

**第６条**　甲及び乙は、本契約に関し裁判上の紛争が生じたときは、訴額等に応じ、〇〇簡易裁判所又は〇〇地方裁判所を第１審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意する。

　甲と乙は以上のとおり合意し、その成立の証として、本契約書2通を作成し、各自、署名又は記名捺印の上、各１通宛所持するものとする。

　令和〇年○月○日

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　甲

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　乙

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　×　×　×　×

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏名　〇　〇　〇　〇　㊞

抵当不動産の表示

所在

地番

地目

地積

所在

家屋番号

種類

構造

床面積